種芸年中行事

正月

上志せん

○ろをうむ○ふきのとう○ねんぢうへ○くろくさあかる○さくさくさうくへかん○まつため○めざくりんぢぬ○しもりぬあんずさうつぐ○ぜりつむ

中志せん

○うどみつぐ○だんくぎみをうける○ちやつぐきざでんをずべてきのういのたびまく○さやーつつうさきりあんーをくへー○ちやつぐきりまよくへたけぐむーうたくを

下志せん

二月

○くこうこぎんちまくぬ。そのかうふのこのみきくりそうる○おつぢさこんたできく○こやーつちるひあめのうたくねとろへをのてつろ○らつきやうとけうく○つくいもなぐいもきりて炊ちうる○よつぢぎんのきたるまく○きもようけよをきたるぢみをたくふ

○いい祝のだとみづひうう○さうまう○祝りぎひまく○あやういてけいもるへちへたいもをうへ○きそれふやくのたとえちうる○きそおいゆくまく○かたんぎやくきそのこまく○おすのたひるへちまく○たうきぢでうやうぢんきう。ひやくしぢくくうろのこまく○てさびやりうく○くさぢみのうい祝てけうへ○てうりまつまげう

○祝りぎひまく○あやういてけいう○祝いもぢみをうけ○きく祝すみ○きだの祝きりうく○かきぐたちだちまんりやうまく○えちうくのむあざくぢめかりうくかく○ぢがう廿九日まけばえみをとき炊祝わひまる○えすいつちとりうへ

○ちやつみえぐめ○きうそうたなのこかる○い祝おえきろくまく○みううへ○てさまく○ただこるへんたけだぜりつーうむ○あいえたけうる○おたまめおうみそしまくふうつけうにうりたうる。

○そくまあとる○いもきやうぐうへ○てさまく○ただこるへんたけへうる○ぢりうえたけへうる○かんぎうう祝きりうへ○さきうりりいぐーたけうる○さんぜうのうえむ○かきろくぐうやうぐがひやうたんぷぐぐちまく○さうまいもつるきりうへ○てうせんみんぎんたなえたけへうへ○ひぐきのきつぎまくうへかへ○きくをすふむーをとるうむろのうへきいぐす

○大づぷつやぬりまく○えちくたけのこかる○もろふーたらもうこーえたけへうる○きくげあさぢのそをやり○つりすろのみどりをえくふ○たちぢおまんりやうからじりいうへかへ○らんぷおもとせききやうまつぐんつけうへやうやうちくがんちくきくたけさす

○えんちくきりう○あいひへぎみ祝きまく○おぢいもつくいもをんちまりたけやくべふえるつむ○かーきろあうまろがきぢろうへかへ○をかのりのくをとりふーひまあぢりもみてるものくうれいあをのりのざとー

○えんげきやうの二日めんぎんまくたけまいうへけ○めうぐるまんとる○きくさす○たちぢおまりやうつく○せききやうをいーくつける○みづうさうへりーくまのさあぶーかすのくをーこせをうけりそたふふ

○大むきうり○あいひへぎみ祝きまく○おぢいもつくいもをんちまりえたけへうる○ぢんふやくうへ○あさたやくべふえるつむ○かーきろあうまろがきぢろうへかへ○をかのりのくをとりふーひまあぢりもみてるものくうれいあをのりのざとー

○大さんたひとる○せりのくきをきりたのおうへちーしいる○ぢをんさいつむ○あをのくる○きくふたけをそへや○えるあひのことりまき○つーじぎりきぢまつすーてうせんみんぎんのこをとりつちへまぜいけをく

○そばまく○おーらのふだをうみたてのくをとる○すいぜんまやしをる○おでーしぜきちくそをとうすぐくまく○つぐきざでんふぷーくんまもすべー○かたんぎやくやくのこをとりつちへいけをく○けいぐかりぢだいもぢんござくりる○きなのきのうふをなきさきてむまのえよけまーーまるおいるなべー

○ただこのえつみえぐめ○えちえのむめりーざくぢかいだうぢーりんごぢがうないうけぐへをるまさぢうへまもすべー○かたんぎやくやくのこをとりつちへいけをく○けいぐかりぢだいもぢんござくりる○きなのきのうふをなきさきてむまのえよけまーーまるおいるなべー

○えくきぐきりあす○きぶかきよけまーーまるおいるなべー

○この月とくさをとれ

○きよ祝ん九月げぎせんみづよけ

○三百十日き

三月

○れかがまく○ふきとう。よろるつむ○ごきあさんうさまく○もろこーだうもろこーをえちまく○きぢろのこかりいぐーたけへうまくるあちへうへ○ぶどうるまたるまさーきたるなをー○そくーぐまつるぢけいぐいぢろえかこつーまく○かいこのきく○げむーくもーのぐくうそとる○きり祝よりきりふりぢまさ祝をきうとりてうる

四月

○ちたれとる○さくげいもがきくへ○つくびぜんまいきろ○みんぎえんぐ祝んぐかうるいつぐ○うくへかんをまてきずをつけ九月まで十たひもとる○きぢろのくふむく○さいうちのあをとりあんものるす

五月

○五日百さうをとるやく○いむぎかる○い祝うへ○くふおるをちようたへうつけ○まだけたけのこかる○かーのきりこと○むめりーまけきのよせ○やうのきくへかへ○ゆうきいるあまつつける

六月

○六日百さうをとりやく○ごやーのうちあさをかりみづよひたーくそをむきをとをすー○かくむーのくきをかりるぶれみづよひたーくをくきちぐみをれる○たくこのるりうきうるかりて。をひをつけてかす○かさすげ。このすげかりてかす○ささをかりきろぐよひたーかす○ぢりこのそるみをきれ八祝おかきくちる

○やうのさくしんかへ○ふうさいまめ
ゆつける

六月

○六日百さうをとりやく
○ごやうのうちあさを
かりみづよひたーうもをむきをとり
ちす○かるむーのくきをかりあづ
れみづよひたーふをときちぐみを
ねる○たくこのねりうきうねかりて
そひをつけてかす○かさすげ。
このすげかりてかす○ごくさを
かりころごよひたーかす○ほりこ
のえるをきれハ祿おかきくちる

七月

○この月よりくさをとれ
らい祿んくさすくを〜○つけ
なるむめをかす○ちやうづのふる祿を
かりこる○きよつくてつぷうむーを
ちやうずかみきろむーをよくみつけ
てとりへー○ろくさきのろいよ
つくむーよいこうをこのちをどー
ろまませぬへー○めぐさこる

八月

○ちそ。えちそのこそろ
○祿ぎみつぐ月りつけ
うへ○せきちくみぐーいをうのりま
く○むりぐひろう○ちちやたう
ぢーやまく○いもかくかす○ちめ
ろのえむく○むくのえとろかす
○どくるひさす○ろろかりやす
かる○かやのこそろ

九月

○三月だいえんぞくまめ。
をんだうまく○えちのよ
きくのあぐざちをとる○さるのひ。
べかまく○ろりやまちへうづめかちへ
○あろ祿めこそろまさ祿かる

十月

○大むぎまく○ちもの
ふるまへそむろる○ふくろ
るけうへ○十月のぜろよりさがそん。
きりんくあだんぷさうろふさんだんふ。
むくさきおもとちえんーふくくらん。
つぐもだま。ーたくむろへいるもー
むろのうちへ祿づこいりたれハえんく
をたきまさかるをやくへー○祿ろぎ
のるかりほす○ちよろまかる

十一月

○いもちやうぐかりうかと
ふ○たどこのこちへちまま
きちもよけをもる○がおもつぎやう
ろう。うえんかちふ○だいちんひきちす
○ちちちをーとる

十二月

○きかくすうの祿をかりすいひーたるをてんくハぐんといふ。かさくろの祿もすいひすべー○ちり
ちんるよハ二ちちやくまさのつちをかりあけちもぐへをかける二月まそてま二三どすへー○かんちくちやくちやーつちくー
のたるぶむーのこだんてうへのよがいちー。まさくたけもたびくうちいちちもちへをしれきりかいすべー
○すぐてうへかのくおぜろハくふのかんだんいよりてちそくあれハかちくぐぐちんいちもちへをしれきりかいすべー
かきうるきれハちやくちつけおそくれさむまさ一祿んまい祿さんどそろくよ。すささむきくふくていハ
おそくまきくやくとろ。よりてたるまきづぎくぐさーきのぎぜろもそふくよりちぐひありぷくよもれたるかの
もたかくまさくたけよりをりあげたるうへのちくこやくくーちのせいかちうへやくちんへうへつけやうぷんてき
きのやーちひくいふでよかきつくーえすろてたづぬるちともぐくハてきまんたるわどのちとハさへん
たまへーでんえさのちとハらうのうよりてたづぬるよきくすと祿づぎんげんのうしろいハさきちすす

○てうぜんちんぎんのこをとりうちへ
まぜいけをく
○ただこのこつみそぐあ○えちく
のむめりぐさこかいだうぷーりん
ごかうういろけごへちるまさぐちへ
まもすべー○がたんちやくやくの
こをとりうちへいけをく○けいぐ。
かりだいもぷんごさくがる○ちな
のきのろハをかきさきてかまのへ
よみまーまさちいこなぶべー

○えくきぐきりかす○ちぶかき
みづよいれちぶまする○二百十日まさ
廿日まへさくかつまさふふぬてあて
をーたいがくハきりもかーかきく祿
るをーをくべー○いねごをとり
うまさーありたとへ者そく
ろふべー○てんきのよきひやうが
かをむきかりてかんひようとす
○つけなかぶおぶくちぬきやうちぬかう
ーまく○ちろかきかーら〜○ひよ
うたんぷくべをとりちろみづこひた
うかへをたけのへらうそぷくちそげ
かす○たるぬきかきかーら〜○よく
いんとる○ふるきたけきりちし
○ちやづぐき。さぐんくふのみをとり
つちくぬめをく○かたんちやくやくけへん
○ちらちでかーちろのきをきり
かいさてうもめをつけみづよちづめを
とりつちへうづめをく○をうむろへ
○きらい祿ん七月とりぐーちいたけ
をとるへー○まろのかハまきずを
つけたきまろやまをとる
○ゆりかさりくずの祿かる○まろ
さうやぐもみをいる○ちちろのこを
とりつちへうづめをく○をうむろへ
○ちらんおかとたちでなぜきちやうかる。
ひやふちえのあるきのちいをいろへー○えろ
たきぷたすちぜんーちぷもいよえをそ
ちろうべー○あハたうむろへいる○かう
でのあぐをきりとりむーてかハをむき
かみまくへー

○きりをきりざいとす○かん
ちやうぐをつくる○たひかめ祿づを
よくとれぬようちんすべー○かき祿
ちひちをー○えすの祿かる

○きくのちへをこぶりへちもよけする
○ろさのちいへきのえをうけきのいち
いたけをえへちきよけする○うどみつ
ぐへぐみをうける○えのきたけとる
○かくだちのこまるぐでうも

天保丙申年冬至刻　東都

灌園閣藏板